

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【公表番号】特表2009-514206(P2009-514206A)

【公表日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-013

【出願番号】特願2008-537252(P2008-537252)

【国際特許分類】

H 01 L 33/00 (2006.01)

H 05 B 37/02 (2006.01)

【F I】

H 01 L 33/00 J

H 05 B 37/02 L

H 05 B 37/02 J

H 01 L 33/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月15日(2009.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発光ダイオード(LED)発光体システムであって、

混合色光を発生するための複数の色の複数のLED光源と、

所望の色を有する混合色光を表す設定点値と上記LED光源によって発生された混合色光の色を表す第1の制御データとの差に従って上記LED光源を制御する手段と、を含み、上記第1の制御データは少なくとも1つのカラーセンサによって供給される、LED発光体システムであって、

上記各LED光源の温度を導出する手段と、

上記LED光源の温度を含む第2の制御データに従って上記設定点値を補償する手段と

、
を含むことを特徴とするLED発光体システム。

【請求項2】

上記第2の制御データは、LED光源毎の基準LED光源温度を更に含み、それによって、上記LED光源温度と上記基準LED光源温度との差が、上記LED光源のピーク波長シフトの量の測度になることを特徴とする請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

上記第2の制御データは、異なるピーク波長に対する上記1つまたは複数のセンサの感度を表すデータを更に含むことを特徴とする請求項1または2に記載のシステム。

【請求項4】

上記第2の制御データは、上記LED光源のスペクトル出力を表すデータを更に含むことを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載のシステム。

【請求項5】

上記導出手段は、上記LED光源が取付けられているヒートシンクの温度を測定する温度センサを含むことを特徴とする請求項1乃至4の何れか1項に記載のシステム。

【請求項6】

上記導出手段は、少なくとも測定されたヒートシンク温度及び複数のLED光源の熱モデルに基づいて上記LED光源温度を計算する手段を更に含むことを特徴とする請求項5に記載のシステム。

【請求項7】

上記少なくとも1つのカラーセンサは、フィルタ付きのフォトダイオードであることを特徴とする請求項1乃至6の何れか1項に記載のシステム。

【請求項8】

混合色光を発生するための複数の色の複数のLED光源を含むLED発光体を制御する方法であって、

所望の色を有する混合色光を表す設定点値と上記LED光源によって発生される混合色光の色を表す第1の制御データとの差に従って、上記LED光源を制御するステップを含み、上記第1の制御データは少なくとも1つのカラーセンサによって供給される、方法であって、

上記各LED光源の温度を導出するステップと、

上記LED光源の温度を含む第2の制御データに従って上記設定点値を補償するステップと、

を含むことを特徴とする方法。

【請求項9】

混合色光を発生するための複数の色の複数のLED光源を含むLED発光体を制御するシステムであって、

所望の色を有する混合色光を表す設定点値と上記LED光源によって発生される混合色光の色を表す第1の制御データとの差に従って、上記LED光源を制御する手段を含み、上記第1の制御データは少なくとも1つのカラーセンサによって供給される、システムであって、

上記各LED光源の温度を導出する手段と、

上記LED光源の温度を含む第2の制御データに従って上記設定点値を補償する手段と、

を含むことを特徴とするシステム。